

トピックス第5回

「『もりみんな山のこども園』の挑戦」

～安芸太田町から発信する「自然保育」の未来～

6月19日、認定こども園とごうちを会場に、「広島県自然保育認証団体保育者等安全研修」が開催されました。この研修には、県内で自然保育に取り組む保育者が集い、実際に龍頭峡に赴き自然保育の様子を参観したり専門家の講演を聴いたりしながら、安全管理に関する知識や実践について学びを深めました。また、本町は独自にポスター展示や動画上映を企画し、町内の保育所・認定こども園が実践する自然保育を紹介し、多くの参加者から関心を寄せていただきました。

安芸太田町は、豊かな森林や清流、里山の風景など、全国に誇る自然環境に恵まれています。このかけがえのない地域資源を子どもたちの学びと成長に生かそうと、町内の保育所・認定こども園では、「もりみんな山のこども園～こもれびの森ひみつきち～」を共通理念として自然保育を推進しています。

自然保育は、単に屋外で遊ぶ活動ではありません。自然の中で五感を働かせ、自ら発見し、考え、挑戦することを通して、子どもたちの主体性や探究心、自己肯定感を育む教育・保育活動です。自然の世界には毎日同じ姿はありません。季節によって変化する景色や天候、生き物との出会いなど、予測できない出来事が子どもたちの好奇心を刺激し、「なぜだろう」「やってみたい」という学びの原動力を生み出します。

町内4つの園・所では、それぞれの地域特性を生かした特色ある自然保育が展開されています。例えば、棚田や里山では四季の移ろいを感じながら、生き物や植物との出会いを楽しみ、発見した草花や昆虫を図鑑で調べるなど、自ら学びを深める姿が見られます。また、地域の田畑を活用した野菜づくりや収穫体験、自然の恵みを生かした活動を通して、食への感謝やものづくりの喜びを味わっています。

さらに、里山や渓谷などの豊かな自然環境を活用した園外活動では、仲間と協力しながらさまざまな挑戦を重ねています。自然の中では、思い通りになら

ないことや小さな困難に出会うこともあります。しかし、それらを乗り越える経験こそが、子どもたちの心と体をたくましく育てる力となっています。

本町の自然保育の大きな特徴は、地域全体が子どもたちの学びを支えていることです。農業体験や自然体験活動では、多くの地域の皆様が協力し、子どもたちに本物の体験の場を提供してくださっています。畑での作業や収穫体験を通して、食べ物が育つ過程を知り、働くことの大切さや自然の恵みへの感謝の気持ちを育んでいます。

また、異年齢の子ども同士の交流に加え、地域の中高生やボランティアの方々との関わりも大切にしています。年上の子どもたちへの憧れや目標を持ちながら成長し、地域の大人たちに見守られることで安心感や自己有用感を育んでいます。こうした多世代のつながりは、安芸太田町ならではの自然保育を支える大きな力となっています。

今回の安全研修では、自然保育において「安全」と「挑戦」を両立させることの重要性を改めて確認しました。保育者が危険を適切に把握し、安全管理を徹底することで、子どもたちは安心して自然の中で思い切り挑戦することができます。その挑戦の積み重ねが、自信や主体性、そして困難に立ち向かう力へとつながっていきます。

これからも安芸太田町では、地域の自然や人とのつながりを生かした自然保育をさらに充実させていきます。自然の中で遊び、学び、感動する経験は、子どもたちの心に深く刻まれ、生涯にわたる財産となります。そして、その体験を通して育まれる「自ら考え、挑戦し、仲間と協力する力」は、変化の激しいこれからの社会を生き抜くための確かな土台となるでしょう。

安芸太田町教育委員会は、「発展可能な町の創り手の育成」と「安芸太田町らしいウェルビーイングの向上」を目指し、今後も保育所・認定こども園、地域の皆様と連携しながら、子どもたちの「やってみたい」という思いを大切に自然保育を推進してまいります。そして、安芸太田町ならではの豊かな学びの魅力を全国へ広く発信し、未来を担う子どもたちの成長を地域全体で支えてまいります。

令和8年6月

安芸太田町教育委員会 教育長 大野 正人